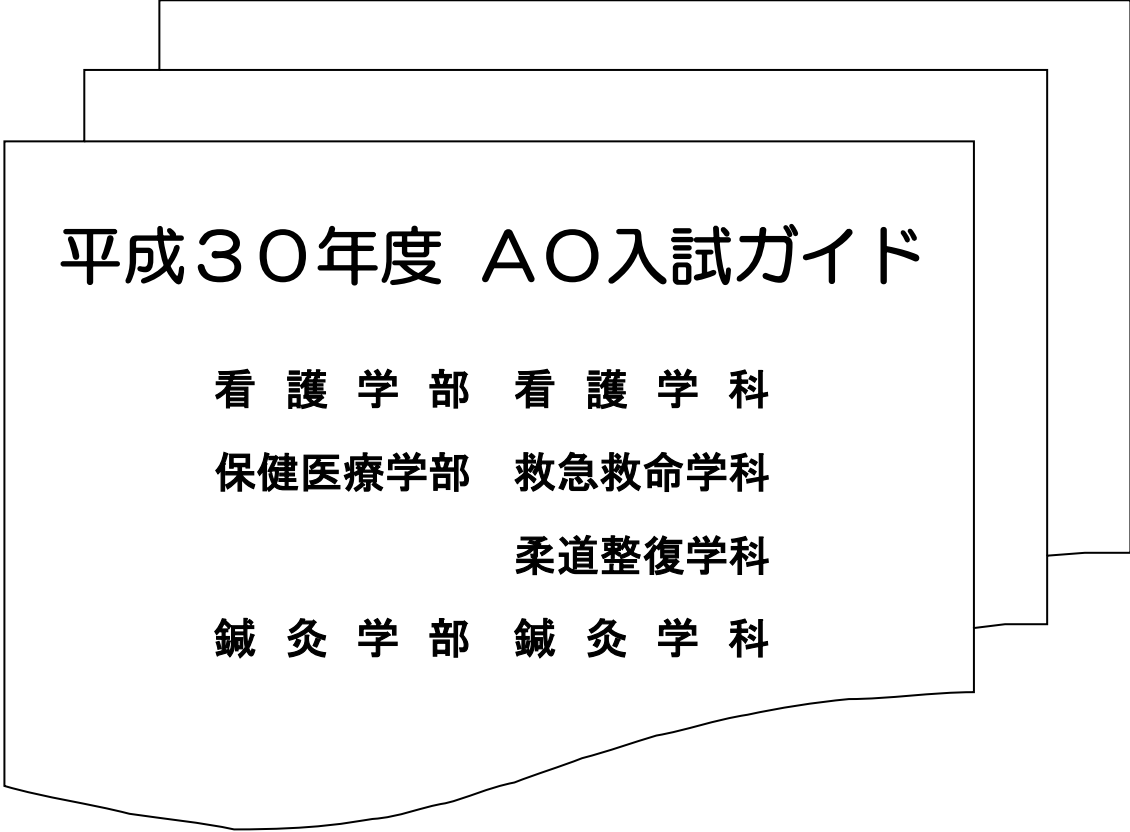




平成30年度 AO入試ガイド

看護学部 看護学科

保健医療学部 救急救命学科

柔道整復学科

鍼灸学部 鍼灸学科

明治国際医療大学

1. アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

明治国際医療大学は、『“和の精神”を真髄となし、東西両医学を有機的に関連づけて、社会に貢献できる医療人を育成する』という建学の精神のもとに、保健医療の分野で国民の健康と福祉に寄与することのできる“実践力ある心豊かな医療人”の育成を目指しています。

本学ではこの目標に向け、①豊かな人間性、②東西両医学を有機的に関連づける実践力、③保健・医療・福祉の発展に寄与する能力を備え、④医療の国際化に対応しながら地域の特性を踏まえて社会貢献ができる優秀な人材の育成を指針としています。

また、全学部共通として、自己を律する心、他者を気遣う心、コミュニケーション能力、さらに生涯学び続けようという強い意欲を持つ人を求めています。

◎看護学部 看護学科

人間の尊厳を大切にし、高い倫理観と使命感をもって保健医療職として社会に貢献したいという強い意志を持つ人物を求める。

- ・看護学の教育目的を理解し、保健医療専門職として必要な知識を修得することを目指して粘り強く学び続けられる人
- ・看護に必要な知識技術の修得のために、人体の疾病の成り立ちと回復の過程を理解するための基礎学力を有する人
- ・人間愛を基盤として、専門職として正義感と責任感を持って人々の幸福を支える健康や福祉に貢献することを自ら考え行動できる人
- ・基本的マナーを身につけ、規律を重じ自分自身を客観的にみつめ、和の精神と奉仕の精神を持って多様な人々と協働できる人

入学後の教養教育及び専門教育に十分に対応できる資質として、高等学校等での教科科目に関しては、下記の（１）～（５）を入学時まで修得しておくことが求められる。

- （１）国語：様々な文章（特に論理的な文章）を読み内容を理解する能力及び考え方を深め、積極的に自己の考えをまとめて表現できる能力
- （２）英語：基礎的な読解力・表現力・コミュニケーション力
- （３）数学：基本的な数学の知識を習得し、論理的な思考を展開できる能力
- （４）理科：「生物」「化学」及び「物理」の基本的な知識
- （５）基本的生活：日常の基本的マナーや生活習慣を身につけており、人に対して思いやりのある柔軟な態度

◎保健医療学部 救急救命学科

人の生命を守りたいという信念を持ち、将来、地域社会に貢献する仕事に就きたいと考えている人で、次の資質を有する者を求める。

- ・救急医療の知識と技術の修得に必要な基礎学力及び基礎身体能力を有する人
- ・救急救命学科の教育目的を理解し、救急医療に関する知識・技術の修得及び身体能力の向上に積極的に努力する人
- ・規律を重視し主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を有する人

入学後の教養教育及び専門教育に十分に対応できる資質として、高等学校等での教科科目に関しては、下記の(1)～(5)を入学時までに修得しておくことが求められる。

- (1) 国語：様々な文章（特に論理的な文章）を読む能力、及び考え方を深め進んで表現しようとする態度
- (2) 英語：基礎的な読解力と表現力、及び英語でコミュニケーションを図ろうとする態度
- (3) 数学：基本的な数学の知識と技法を習得し、論理的な思考を展開できる能力
- (4) 理科：「生物基礎」の内容の理解と基礎的応用力（加えて、「生物」「化学」及び「物理」を学んでおくことが望ましい）
- (5) 保健体育：高等学校で行う「新体力テスト」の評価が優れている

◎保健医療学部 柔道整復学科

本学科では次の資質を有する者を求める。

- ・豊かな人間性を有し、自らを高める意欲を持つ人
- ・人々の健康に資するため、柔道整復の高度な専門知識と優れた治療技術の修得に積極的に努力する人

入学後の教養系教育及び専門系教育に十分に対応できる資質として、高等学校等での教科科目に関しては、下記の(1)～(4)を入学時までに修得しておくことが求められる。

- (1) 国語：様々な文章（特に論理的な文章）を読む能力、及び考え方を深め進んで表現しようとする態度
- (2) 英語：基礎的な読解力と表現力、及び英語でコミュニケーションを図ろうとする態度
- (3) 数学：基本的な数学の知識と技法を習得し、論理的な思考を展開できる能力
- (4) 理科：「生物基礎」の内容の理解と基礎的応用力（加えて、「生物」「化学」及び「物理」を学んでおくことが望ましい）

◎鍼灸学部 鍼灸学科

人の“こころとからだ”の健康を守りたい、苦痛を緩和したいという信念を持ち、将来、医療や地域社会に貢献する仕事に就きたいと考えている人で次の資質を有する者を求める。

- ・現代医学、はり・きゅう学の知識と技術の修得に必要な基礎学力を有する人
- ・鍼灸学部鍼灸学科の教育目的を理解し、現代医学、はり・きゅう学に関する知識・技術の修得及び身体能力の向上に積極的に努力する人
- ・規律を重視し主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を有する人

入学後の教養教育及び専門教育に十分に対応できる資質として、高等学校等での教科科目に関しては、下記の(1)～(4)を入学時までに修得しておくことが求められる。

- (1) 国語：様々な文章（特に論理的な文章）を読む能力、及び考え方を深め進んで表現しようとする態度
- (2) 英語：基礎的な読解力と表現力、及び英語でコミュニケーションを図ろうとする態度
- (3) 数学：基本的な数学の知識と技法を習得し、論理的な思考を展開できる能力
- (4) 理科：「生物基礎」の内容の理解と基礎的応用力（加えて、「生物」「化学」及び「物理」を学んでおくことが望ましい）

2. 入試概要 ◎詳細は学生募集要項等をご覧ください

(1) 募集人員

看護学科	救急救命学科	柔道整復学科	鍼灸学科
6 名	1 0 名	1 0 名	1 5 名

(2) 入試日程

出願期間	試験日	試験会場
8/14（月）～ 8/25（金）	9/2（土）	明治国際医療大学
合格発表日	入学手続締切日	
9 月 8 日（金）	9 月 29 日（金）	

(3) 試験科目

看護学科

試験科目	配 点	摘 要
学習到達度検査	100 点	「国語」「英語」「数学」から2科目選択 各教科の基礎的な学習到達度を検査する
ディスカッション	50 点	予め提示した課題についてディスカッションを行う
面 接	4 段階	複数の試験委員による個人面接を行い、適性を総合的に判断し、合否決定の重要な資料とする

救急救命学科

試験科目	配 点	摘 要
学習到達度検査	100 点	「国語」「英語」「数学」から2科目選択 各教科の基礎的な学習到達度を検査する
ディスカッション	50 点	予め提示した課題についてディスカッションを行う
新体力テスト 測 定 証 明 書	4 段階	高等学校等で実施される新体力テストの結果について段階評価する
面 接	4 段階	複数の試験委員による個人面接を行い、適性を総合的に判断し、合否決定の重要な資料とする

柔道整復学科・鍼灸学科

試験科目		配 点	摘 要
選択制	小 論 文	100 点	課題について 800 字以内で記述する
	学習到達度検査	100 点	「国語」「英語」「数学」から 2 科目選択 各教科の基礎的な学習到達度を検査する
ディスカッション		50 点	予め提示した課題についてディスカッションを行う
面 接		4 段階	複数の試験委員による個人面接を行い、適性を総合的に判断し、合否決定の重要な資料とする

(4) 試験時間

看護学科・救急救命学科

9 : 30～9 : 40	9 : 40～10 : 40	10 : 40～10 : 50	10 : 50～
受験上の説明	学習到達度検査	休 憩	ディスカッション・面接

柔道整復学科・鍼灸学科

9 : 30～9 : 40	9 : 40～10 : 40	10 : 40～10 : 50	10 : 50～
受験上の説明	小論文※ 学習到達度検査※	休 憩	ディスカッション・面接

※小論文・学習到達度検査は受験時に選択してください。

- 【注意事項】 1. 試験当日は必ず「受験上の説明」開始 10 分前までに入場してください。
2. 受験票は試験当日必ず携帯してください。
3. 試験開始後 20 分を経過すると入場できません。また、途中退場できません。

3. ディスカッション

形 式	① 受験生 5 人前後に対し、複数の試験官が評価者となり、その内の 1 人の試験官が司会進行します。 ② 課題について、受験生全員に対し意見を求めますので、各自 3 分程度発言してください。 ③ 全員の意見を聴取した後、司会者の指示に従い、質疑応答形式でディスカッションを行います。 なお、ディスカッションは、同一学科の受験生で行うことを基本としますが、試験会場ごとの人数により、他学科と合同で行うことがあります。 ◎ 本人自筆のメモ（A 4 版 1 枚）に限り、持ち込み可とします。
試験時間	受験生 5 人前後で約 30 分とします。
評 価	しっかりした自分の考えをもっているか、さらには論理力やコミュニケーション能力、場に応じた対応力などを、意欲や個性、熱意などとともに、将来的な可能性を含み総合的に評価します。

● ディスカッションの課題 ●

看護学科	「2025 年問題」
救急救命学科	「東京オリンピックの救急対策について」
柔道整復学科	「世界に誇れる日本の文化について」
鍼灸学科	「世界に誇れる日本の文化について」

4. よくあるご質問

質問内容	回 答
Q. AO入試はどのような入試ですか？	AO入試は、学力考査では計りきれない、本学で学びたいという意思を尊重する入試制度です。このことから、オープンキャンパス等に参加し、体験授業及び個別相談を受け、本学で学ぶ内容を理解し、出願していただくことを推奨します。
Q. AO入試は専願制ですか？	専願制です。 合格者は必ず本学に入学することが条件ですので、慎重に検討し、出願してください。
Q. 入学検定料はいつ支払うのですか？	出願書類を提出する際に納入してください。
Q. AO入試の小論文と学習到達度検査はどの時点で選択するのですか？	小論文と学習到達度検査は、試験当日、出題内容を見て選択してください。(柔道整復学科・鍼灸学科のみ)
Q. AO入試での出願を考えていますが、特待生選抜に加われますか？	授業料の全額または半額相当額を減免する特待生制度を実施しています。なお、AO・推薦系入試および社会人入試等で既に入学が決まっている方についても、一般入試A日程の学科試験を受験、または大学入試センター試験の必要科目の成績を提供することで、特待生選抜に加わることができます。(検定料は無料です)
Q. 合否はどのようにして知ることができますか？	合格発表日の午後1時に学内掲示・ホームページにて発表します。また、併せて選考結果通知書を郵送します。なお、試験当日に会場近辺で合否電報の受付が行われていることがありますが、本学とは一切関係ありませんのでご注意ください。